

「南房総地域観光圏」の形成

～ゆっくり滞在して楽しめる新たな南房総ツーリズムの創出へ～

南房総地域観光圏整備推進協議会

(事務局：館山市経済観光部商工観光課

観光プロモーション室体験交流グループ長 小澤一典)

南房総地域（千葉県館山市・鴨川市・南房総市・鋸南町）は、房総半島最南端に位置し、三方を海に囲まれるとともに、内陸は県下最高峰の愛宕山（408m）をはじめ300m以上の山が連なり、急峻な山地が形成されている。また、黒潮の影響により温暖な気候に恵まれている。

こうした豊かな自然環境に着目して様々な体験活動が展開されるなど、本地域の自然風土は地域の観光・交流の礎をなす要素となっており、こうした自然環境を守りながら観光客に楽しんで頂く地域観光の展開が期待されている。

先般、本地域における特性や課題を踏まえて3市1町が共同で観光圏整備実施計画を作成し、「観光圏の整備による観光旅客の来訪及び滞在の促進に関する法律」（平成20年法律第39号）に基づく認定を受けた。

本稿では、本計画によって今後展開する予定の具体的な取組内容のうち、交通移動の利便性向上事業について記載するものである。

※5ページに写真を掲載しております。南房総に是非お越し下さい。

【南房総地域の特性や課題】

- ◆豊かな自然・農漁村風景と温暖な気候に特色づけられる地域観光の展開への期待
- ◆日帰り観光から滞在型観光への転換に求められる広域的展開
- ◆広域的な魅力コンテンツを活かした教育旅行・ニューツーリズムの台頭
- ◆広域で束ねることにより多様なニーズに応え得る、複数の宿泊施設集積地区
- ◆旅行会社が南房総に求める「地域観光圏としてのまとめり」



「南房総地域観光圏」の形成

お客様（観光客）にとって、行政の境は関係ない。
南房総地域全体をめざしてやってくることを前提とした
広域連携の展開により、ゆっくり滞在して楽しめる
新たな南房総ツーリズムの創出へ

○「お宿周遊送迎バスの運行」

現在、鴨川、天津小湊地域の滞在促進地区においては、旅館組合、温泉組合等の共同運行により、東京圏からの誘客に向けたシャトルバスの運行を行っており、低廉な価格もあり、年間1万人以上の利用者を得ている状況にある。

今後は、現在の東京圏からの他、神奈川県地区からの輸送なども視野に入れるとともに、こういった直接輸送のみならず、それぞれの滞在促進地区ごとに、南房総地域全体の滞在促進を視野にいれながら、JR駅や高速バスのバス停などの交通結節点から、滞在促進地区内の宿泊施設へとお客様を一括して送迎する、いわゆる地域内の二次交通手段としてのバス運行について検討し、展開が望まれる地区についてはその具体的な運行方策について検討するとともに実験運行を行う。

また、これらの実験運行の状況を踏まえ、観光客のニーズ、採算性等も検証しながら、可能な地区から本格運行を行うこととし、これにより、南房総地域における滞在型観光の更なる利便性の向上を図る。

○「滞在促進地区を巡る地域内周遊バスの運行」

周遊バスは、南房総地域の館山駅発着のポピーと苺をセットにしたJRバス関東の企画商品である「ポピー&ストロベリー号」が運行されている。アンケートによると、この商品利用者の6割以上が宿泊滞在の観光客であり、地域滞在のメニューとして観光客の需要実績がある。そこでこれを拡大延長して、「南房総地域観光圏」で実施する事業として、滞在促進地区内の宿泊施設を起点として、JR駅や高速バスのバス停、南房総地域への新たな玄関口となる「館山港」や圏内に点在する「道の駅」などの交通結節点などを結びつつ、食や自然・歴史等の体験・交流型資源をそのメニューに取り込む周遊定期観光バスの運行と船と周遊バス・レンタカー・観光ガイドタクシーなどとの共通乗車船券の検討を行う。

なお、「地方の元気再生事業」により、館山港に建設中の「多目的観光栈橋」を起点として、観光圏の域内を巡る周遊バスのルートやメニューの開発を行い、今年度末に実験運行を行う予定である。

また、同事業では南房総3市1町の新たな観光まちづくりを担う人創りを目的として着地型旅行商品を作って販売するまでを学ぶ実践的な講座「南房総観光カレッジ」を開講している。今後は、このカレッジで育った人々が開発する各種プログラムとの連携も図ることを想定している。

○「南房総地域広域をガイドする観光ガイドタクシーの運行」

平成19年2月～4月に実施された、「ちばディスティネーションキャンペーン」で「南総里見八犬伝 ロマン紀行」南房総・館山ぶらりタクシーの旅として、2時間から4時間で巡ることが出来る8つのテーマに沿った観光タクシーによる周遊プログラムを作成し、現在もその運営をおこなっている。

さらに、鴨川市においても、「観光ガイドタクシー」についての取組みを開始し、タクシードライバーにも研修を始めたところである。

今後は、観光圏内において、南房総地域全体を案内することができるガイド能力を習得したタクシー運転手を養成し、圏域内で一体としてプロモーションを行うことでレベルアップを行い、観光客にとっての安心感を増幅させることが出来るようになることを目標として、その方向性等を含めて実施についての検討を平成21年度以降おこなっていく。

○「レンタサイクル拠点の創出／宿泊施設におけるレンタサイクル実施」

南房総地域で実証実験として取り組んできたレンタサイクルシステム「南房総くるくる車ららん」を継承する形で、南房総地域内において乗合バス路線周辺の道の駅、鉄道駅及び宿泊施設等に自転車の貸出・返却拠点を設置し、レンタサイクルにより移動した観光客が別の貸出拠点で乗り捨て、乗合バスやタクシー等の公共交通に乗り継ぎ、さらにレンタサイクルを利用する、すなわち南房総地域における乗合バスネットワークを自転車によって補完する事業を推進する。

現在、貸出・返却拠点は、南房総市・館山市を中心に13拠点であるが、平成21年度以降、同一システムにより鴨川市・鋸南町を含めた南房総地域観光圏エリア全域に拡大し、宿泊施設を含めた新たな拠点の創出を検討する。

これにより、南房総地域の二次交通手段としてサイクル&バスライドを促進し、「環境にやさしい南房総ツーリズム」の定着を図るとともに、滞在促進地区内の有効な移動手段として里海・里山をのんびり周遊してもらい、滞在時間の延長化、ひいては滞在促進につなげる。

なお、館山港に建設中の「多目的観光栈橋」を起点として、「地方の元気再生事業」により、レンタサイクル事業を実施し、観光圏の域内を巡る周遊バスのルートやメニューの開発と併せて今年度末に実験運行を行う予定である。



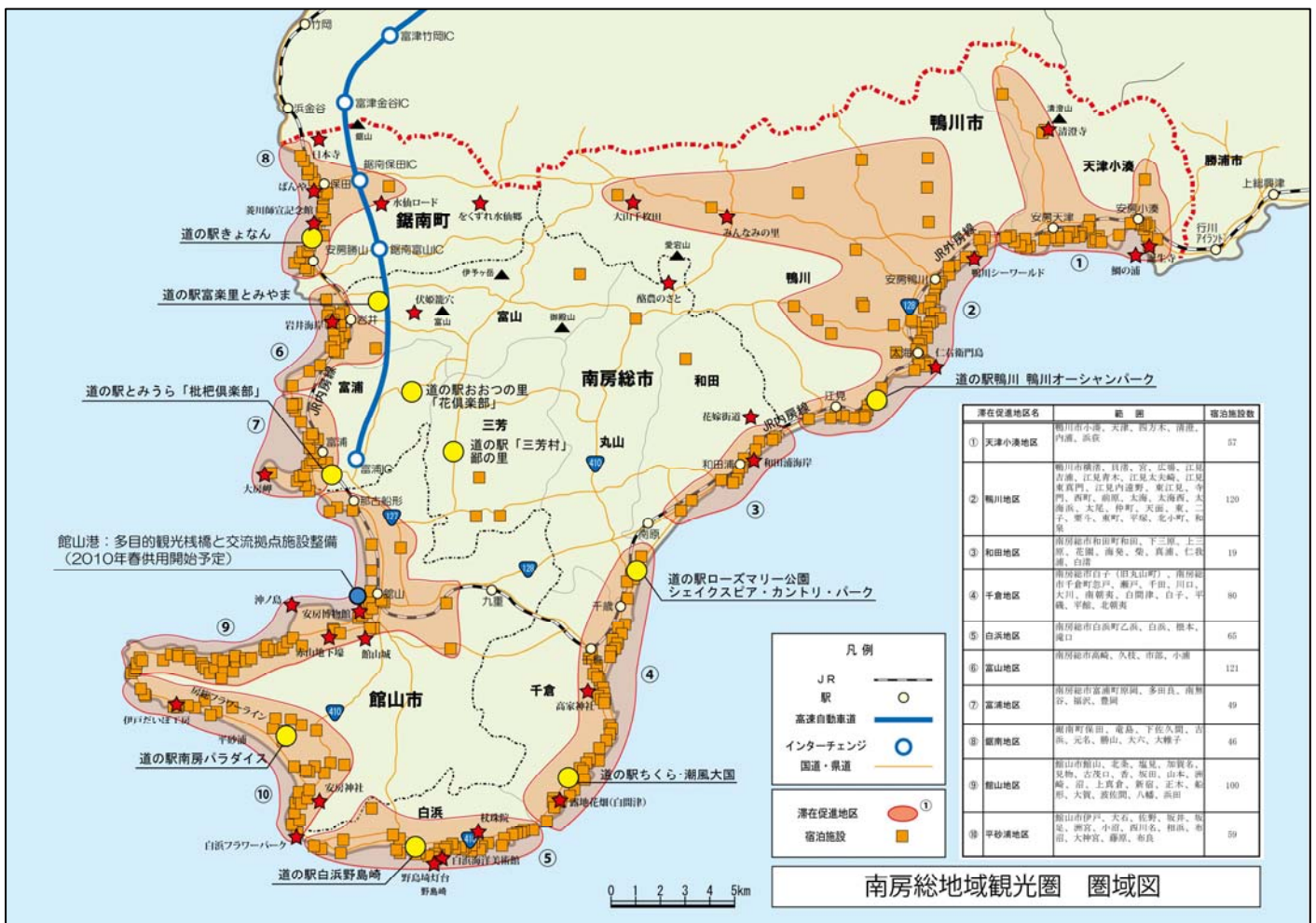
[実証実験の概要]

- (1) レンタサイクル貸出・返却拠点 13か所
 - (2) レンタサイクル 93台
 - ・シティサイクル ・ジュニアサイクル
 - ・電動アシスト付
 - (3) 利用料金 1日500円
- ※貸出状況によって設置台数に変動あり

○「バス&レンタカー、ジェットホイル&レンタカー等のサービス創出」

レール&レンタカーのように公共交通とレンタカーの連携サービスについて、高速バスや、完成後は館山港多目的棧橋を拠点とする超高速ジェットホイル（船：現在季節運行中）とレンタカーとの連携サービスを図る。同時に既存のレール&レンタカーも含めて一体的にプロモーションを行うことで、観光客が公共交通と二次交通を利用して楽しく円滑に観光圏域内を周遊できるようにすることで、地域での滞在時間の延長化、ひいては滞在促進につながることを目標として平成21年度以降検討していく。

観光圏及び滞在促進地区の位置関係図（圏域図）





◇ 関東最大級の約10万株のポピー畑は圧巻です。毎年早春の時期は南房総の随所で花摘みが楽しめます。ポピーの他、ストック、金魚草など色とりどりの花々を旅の思い出にお持ち帰りいただけます。



◇ 冬でも暖かい南房総は、1月からいちご狩りが楽しめます。とちおとめ、章姫、紅ほっぺ等ハウスの中で赤く色づいた旬の味覚を味わう“いちご狩り”は早春の南房総の代名詞です。



◇ 車や電車を利用する日常生活から離れて、さわやかな風を感じながらレンタサイクルで南房総を思いきり駆け回ってください。環境にも優しい自転車は機動力抜群。乗り捨ても出来て便利です。

<http://www.mboso-etoko.jp/ukurukuru/index.html>



◇ 春限定・東京湾クルージングを楽しみながら、早春の南房総たてやまへ。東京竹芝からわずか75分でアクセス可能。たまには水路で南房総入りも新鮮で良いかもしれません。